

一外務省、独立行政法人国際協力機構一

政府開発援助の効果の発現について(外務大臣及び独立行政法人国際協力機構理事長宛て)

指摘の背景となった援助の効果が多分に発現していないと認められる

事業に係る贈与額(支出) 20億9913万円

援助の効果が多分に発現していないと認められる事業に係る調達額(支出) 2億1389万円

指摘の背景となった援助の効果が多分に発現していないと認められる

事業に係る貸付実行累計額(支出) 110億7776万円

1 政府開発援助の概要

開発協力大綱によれば、我が国は、国際社会の平和と安定及び繁栄の確保により一層積極的に貢献することを目的として、開発途上地域の開発を主たる目的とする政府及び政府関係機関による国際協力活動を推進することとされている。平成30年度における政府開発援助の実績は、外務省及び独立行政法人国際協力機構が実施した無償資金協力1830億3211万円、機構が実施した技術協力707億5080万円及び有償資金協力1兆0893億7506万円となっている。

2 本院の検査及び現地調査の結果

同本省及び機構本部において会計実地検査を行うとともに、^(注)10か国の146事業について現地調査を実施するなどした結果、次の事業については援助の効果が多分に発現していなかった。

(注) 10か国 アルゼンチン共和国、コートジボワール共和国、エクアドル共和国、インドネシア共和国、キルギス共和国、ネパール連邦民主共和国、ソロモン諸島、東ティモール民主共和国、チュニジア共和国、ベトナム社会主義共和国

(1) 無償資金協力

ア ホニアラ市及びアウキ市給水設備改善計画(贈与額20億9000万円)

この事業は、ソロモン諸島において、給水事業の改善を図るため、湧水の濁度低減施設等の整備を実施するものである。検査及び現地調査を実施したところ、機構は濁度低減施設の処理量を1,600m³/日として設計していたが、同施設を経由して送水すると給水区域の末端まで配水ができないことが判明したため、同施設は26年以降全く使用されておらず、高濁度の発生回数は、目標値の0回/年に対して、29年の実績は21回/年となっていて、給水水質の改善が図られていなかった。理由について、事業実施機関によれば、同施設から配水池までの間の既存の送水管において漏水等があり、配水するために必要な配水圧が低下するためとしており、同施設を経由せずに湧水を配水池に送水することにより、同施設の処理量以上の送水が可能であり、既存の送水管において漏水等があっても配水するために必要な配水圧が確保できることから、同施設を経由せずに、湧水の濁度を低減させないまま送水していた。機構は事業設計時において、同施設から配水池までの間の既存の送水管における漏水等の発生を把握しておらず、漏水等の影響を考慮した配水池への送水量について十分検討していなかった。

イ ノン・プロジェクト無償資金協力事業(ノン・プロ無償)(贈与額5億円)

この事業は、ベトナムの海上法執行機関の能力の強化に資することを目的として、ベトナム政府において中古船6隻等を調達するものである。検査及び現地調査を実施したところ、中古船6隻のうち、漁業監視局に納入された3隻(調達額2億1389万円)は改裝作業が終了しておらず、造船会社の岸壁に係留されたままの状態ですべて使用されていなかった。同省及び在ベトナム日本国大使館は、29年4月にベトナムに対して漁業監視局に納入された中古船の活用について申入れを行うなどしていたものの、31年2月末まで現地確認を行っておらず、上記申入れ後の状況を十分に把握していなかった。なお、本院の現地調査結果を踏まえて同大使館は漁業監視局に対して働きかけを行った結果、上記の船3隻は、令和元年7月までに改裝作業を終了し、このうち2隻は運用が開始され、残りの1隻は同年8月に運行試験を開始するための手続中となっている。

ウ 草の根・人間の安全保障無償資金協力(草の根無償)：パレゴ地域病院改善計画(贈与額913万

円)

この事業は、ソロモン諸島において、地域病院に新たに病棟及び職員寮を建設するものである。検査したところ、職員寮は完成していたものの、病棟は施工業者の技術的能力の不足により、土台のみ施工されて工事が中断していた。また、平成27年半ばに調達した木材等は劣化して使用できない状況となっていた。在ソロモン日本国大使館は、事業実施機関から工事を中断等した際に報告を受けることとしておらず、28年12月の現地調査により状況を把握した。その後、新たな施工業者が決まったとしていたが、予算を確保することができないことが判明し、令和元年5月においても病棟は完成していなかった。本件事業に係る施工体制等について、同大使館は、事業計画策定時に、事業実施機関から申請書類等の提出を受けて確認したとしているものの、事業実施機関が施工業者の技術的能力を適切に把握しているかについて十分に確認していなかった。

(2) 有償資金協力：デンパサール下水道整備事業(貸付実行累計額110億7776万円)

この事業は、インドネシアにおける下水処理場の建設等を実施するものである。検査及び現地調査を実施したところ、下水処理場は、平成20年10月に完成し、操業後は目標値の約7割の量となる汚水を処理していたものの、汚水処理後の水質についてみると、29年以降のBOD及びCODの実績値は目標値を達成していなかった。機構は、24年5月に事業実施機関から汚水処理後の水質の悪化について報告を受けていて、安定化池等に堆積した汚泥の^{しゅんせつ}浚渫の実施頻度を見直すことなどを検討するよう助言したとしている。事業実施機関等は、助言を受けて27年6月に浚渫を行うなどしたものの、同年7月以降、浚渫を行っていなかった。そして、29年以降においても汚水処理後の水質は目標値を達成しておらず、悪化傾向となっていた。しかし、機構は、助言を行った後の水質の改善状況を十分に把握しておらず、汚水処理後の水質が目標値を達成するよう、現状を踏まえた適切な維持管理を行う必要があることについて、事業実施機関等との間で十分に協議・検討を行っていなかった。

3 本院が表示する意見

援助の効果が十分に発現するよう、次のとおり意見を表示する。

ア 無償資金協力について

- (ア) ホニアラ市及びアウキ市給水設備改善計画については、機構において、当該事態を踏まえて、今後、無償資金協力により、給水事業において濁度低減施設等を整備する場合、事業設計時に、既存の送水管の漏水等の影響を考慮して配水池への送水量の検討を十分に行うこと
- (イ) ノン・プロ無償(ベトナム)については、同省において、当該事態を踏まえて、今後、ノン・プロ無償に代わり新たに実施することとなった無償資金協力(経済社会開発計画)により、調達された中古船等に関して相手国の負担により実施される事業が進捗していないことを把握した場合、中古船等の活用について申入れを行った後も、適時に現地赶赴などして事業の進捗を適切に把握すること
- (ウ) パレゴ地域病院改善計画については、同省において、事業実施機関に対して、中断している工事を再開して病棟を完成させるよう働きかけるとともに、当該事態を踏まえて、今後、草の根無償を実施するに当たって、建物の建築工事を行う事業を実施する場合、事業実施機関からの申請書類等を基に事業実施機関が施工業者の技術的能力を適切に把握しているかについて十分に確認したり、工事が中断等した際には、その状況を速やかに報告することについて事業実施機関に周知したりすること

イ 有償資金協力について

デンパサール下水道整備事業については、機構において、当該事態を踏まえて、今後、有償資金協力を実施するに当たって、事業実施機関等から汚水処理後の水質の悪化が生じているとの報告を受けて改善のための助言を行った場合、その後の水質の改善状況を十分に把握した上で、現状を踏まえた適切な維持管理が行われるよう事業実施機関等と十分に協議・検討を行うこと